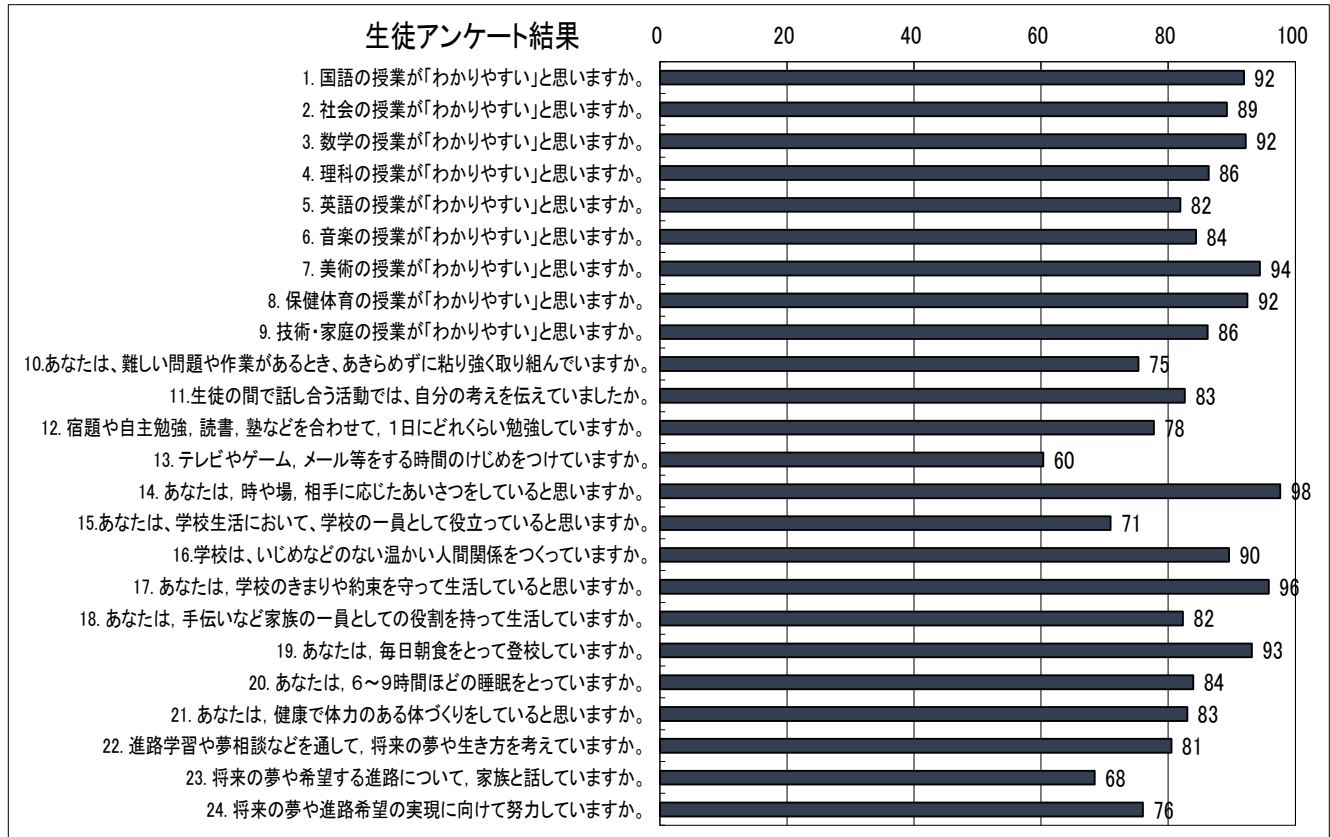


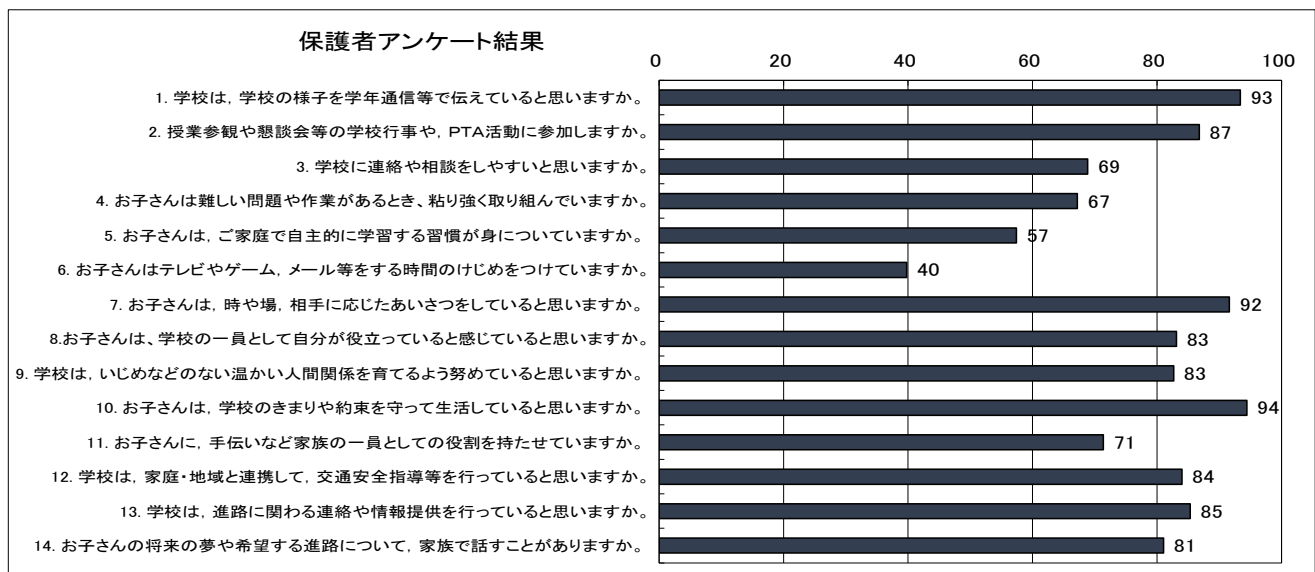


第1回学校評価アンケート結果とその対策について

7月の第1回学校評価アンケートではご協力ありがとうございました。アンケートの集計結果をお知らせするとともに、本校の課題や取り組みの改善点について検討しましたのでご報告いたします。



※グラフは、設問ごとにA(そう思う)とB(大体そう思う)を合計した割合となっています。12.家庭学習の時間については1日1時間以上(塾や読書を含む)、19.朝食については週5日～毎日、23.進路の話し合いについては年2回以上の割合となります。



※グラフは、設問ごとにA(そう思う)とB(大体そう思う)を合計した割合となっています。2.学校行事やPTA活動への参加については年2回以上(入学式や卒業式を含む)、14.進路の話し合いについては年2回以上の割合となります。本校では、AとBの合計がおおむね80%以上となることを目標としています。

以下では、80%の目標に達していない項目のうち重要なものについて、「学校の具体的な方策」と「家庭へのお願い」を記述しますので、ご協力をお願いします。なお、保護者の自由記述に関しては、別日にお知らせします。あずま中学校での課題は以下の5点です。

表－1：あずま中学校の課題

- ①家庭学習時間の増加と家庭での自主的な学習態度・学習への粘り強い取り組み姿勢の育成（生徒設問10・12、保護者設問4・5）
- ②メール・テレビ・ゲーム時間のけじめ（生徒設問13、保護者設問6）
- ③進路への意欲・実現努力（生徒設問23・24）
- ④学校への相談のしやすさ（保護者設問3）
- ⑤家庭での手伝いや家族の一員としての役割の増加（保護者設問11）

学校の具体的な方策

◆家庭学習時間の増加と家庭での自主的な学習態度・学習への粘り強い取り組み姿勢の育成のために
あずま中学校では以下の取り組みからこの改善を行っていきます。

- ①各教科で計画的に宿題を課す（月：国語、火：社会、水：理科、木：英語、金：数学）とともに、自主勉強と家読（うちどく）をすすめることで、家庭学習時間を増加させる（原則宿題は毎日あります）。
- ②担任と担当で提出物の継続指導を行う（課題提出指導が厳しく行われるのはこのためです）。
- ③学習の手引きをあずまライフに載せ、活用するよう指導することで、学習習慣づくりを徹底する。
- ④道徳授業の中で、最後までやり遂げる心（向上心や勤勉・努力、自主・自律等）やさらに高みを目指す意志（理想の実現や強い意志等）、未知のものへの好奇心（個性伸長等）、仲間とともに協力して学習を深める姿勢（集団生活の向上や謙虚・寛容、思いやり、公德心等）を伸長させる。

◆将来の夢や希望を考えられる生徒を育てるために

進路学習の系統性を高めて指導の充実を図るとともに、将来の夢や希望についての教育相談「夢相談」を実施します。また、将来の夢や希望と普段の生活を結びつけて意識させ、進路学習や三者面談、「夢相談」の機会に個別に指導します。

◆連絡や相談がしやすい学校にするために

積極的に電話連絡や家庭訪問等を実施して家庭と連絡を取り、丁寧で親身な対応を行うことにより、保護者や生徒との信頼関係を築きます。また、保護者の要望や意見を汲み取って、連絡や相談がしやすいように学校の態勢を改善するとともに、効果的な連絡や対応の仕方を研修します（8月に研修を持ちました）。たとえ些細なことでも、連絡や相談をすることに抵抗を感じる部分がありましたら、遠慮なく学校に伝えていただけるとありがたいです。

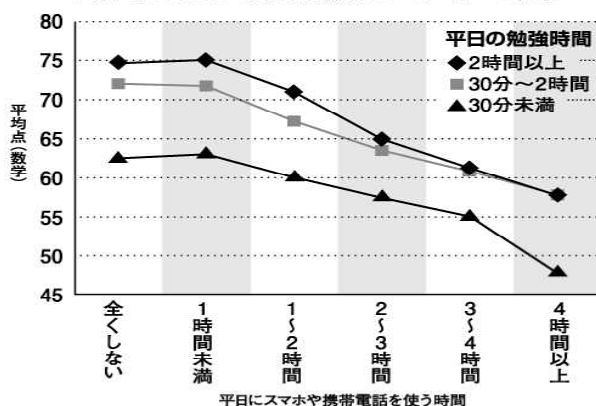
家庭へのお願い

○テレビやゲーム、メール等のけじめをつけさせましょう。

仙台市教育委員会と東北大学による「学習意欲の科学的に関するプロジェクト」は「スマホや携帯電話を使用すると、睡眠時間や家庭学習時間には関係なく、使用時間に応じて学力が低下する」とする調査結果を発表しました。チームによると「これまで、点数が低い生徒は『スマホを長時間いじっていて勉強の時間がないから』と考えられてきました。ところがまったく違う結果が見えてきたのです。つまり、家でちゃんと勉強している生徒でも、スマホを使う時間が長ければ、家での勉強時間が少ない生徒よりも学力が下がっている傾向が統計的に表れたのです。」といい、「**スマホの使用時間が長くなるほど生徒たちのなかから、学校で習得した学習内容が消えてなくなった**」と分析しています。

スマホや携帯電話について今一度ご家庭で話し合ってみましょう。特にお子さんが使用している場合は、上のグラフから平日1時間未満の使用が適切です。テレビやゲームも同様と考えられます。

スマホや携帯電話を使う時間ごとに見た数学の平均点



○手伝いなど、家族の一員としての役割を持たせてください。

家族の一員としての役割は、家の手伝い以外にもたくさんあります。「自分のことに責任を持つ」「家族に迷惑をかけない」なども、家族の一員としての役割と言えるかもしれません。重要なのは、生徒自身が家族の一員としての自覚を持ち、所属感や連帯感を実感できることです。生徒アンケートでは、82%の生徒が「役割を持って生活」していると答えています。それがどんな役割なのか、話を聞いてみませんか。